



2025年2月発行



特集「なばりのきらきらウーマン」

第29回 久保耳鼻咽喉科クリニック 看護師 **森本 優里子** さん

もりもと ゆりこ

名張できらきら輝く女性へのインタビュー企画・第29回は、長く看護師として働く、久保耳鼻咽喉科クリニックの森本優里子さん。親しみを感じさせる飾らない話しぶりと、マスク越しにも笑顔と分かる柔らかな表情が印象的でした。(インタビューの内容はこちらです)

3月はホワイトリボン月間

女性の健康が、世界を変える。



ホワイトリボンは、女性の健康と権利の大切さを伝える国際的なシンボルです。すべての女性が健やかなこと。みずからの意思で自分らしい人生を選ぶこと。幸せで、笑顔でいられることをめざしています。

地球上に生きる人の約半数は女性です。その中のひとりが幸せでなければ、誰もが無関係ではられません。その女性は、社会と分かちがたく結ばれているからです。

国際女性デーのある3月の「ホワイトリボン月間」は、自分や身近な大切な人、として世界中の女性の健康のために、ホワイトリボンとともにアクションしていきましょう！

ホワイトリボンラン 走ろう。自分のために。誰かのために。

ホワイトリボンランは、3月8日国際女性デーと連動させて発足したチャリティアクションです。エントリーして公式Tシャツを身につけて走り、SNSに投稿することで、エントリー費の収益全額が寄付になります。 ※今年のエントリーは1/20で受付終了しました。

3月8日は国際女性デー

「国際女性デー」は、女性の権利を守り、ジェンダー平等の実現をめざす国際記念日なんだ。毎年テーマを決めていて、2025年は「すべての女性と少女のために：権利、平等、エンパワーメントを」となっているよ。

※エンパワーメント=力をつけること



走る以外にも、寄付やチャリティーショップでのお買い物など、支援の方法があります。

公式サイトをチェックしてみてくださいね♪



ホワイトリボン
公式サイト

参考資料：webサイト「ホワイトリボン公式サイト」「フレンテみえ ホワイトリボンラン2025」

名張市男女共同参画センター

三重県名張市希中央5番町19番地
Navarie 2階名張市市民情報交流センター内

TEL 0595-63-5336 FAX 0595-63-5326

e-mail danjo-center@emachi-nabari.jp
https://www.emachi-nabari.jp/j-kouryu/



「つうしん」
web版はコチラ

ご意見・ご感想をお聞かせください



災害対応にジェンダーの視点を

地震や気象災害が多発する日本。能登半島地震での調査もふまえ、教訓を生かして「誰一人取り残さない」ために必要なことは？「男女共同参画の視点による災害対応研修」から抜粋してお伝えします。
(国立女性教育会館主催 2024/10/29～12/3 オンライン実施)

大災害でなにが起こる？



平常時の困難が、災害で「かけ算的」に大きくなる。



障害のある人



高齢で独居の人

ふだんできていないこと（共同参画）は、災害時にはもっとできない。



男性



女性

どんな備えが必要？

- ・多様なニーズの把握
- ・リスクの高い人の個別避難計画
- ・困難な人に手厚い復興支援

- ・性別での役割意識を変えていく
- ・女性が意見を出すことの積み重ね
- ・防災に取り組む女性を増やす



名張市でも、支援が必要な人の「個別避難計画」づくりに取り組んでいるよ。ご近所さんがどんな状況か、知っておくことも大切だね。

意思決定の場に関わる女性の参画…名張市では

- 危機管理室職員に占める女性の割合…………… 0%
 - 防災会議の委員に占める女性の割合…………… 16.7%
 - 地域づくり組織の長に占める女性の割合… 13.3%
 - 審議会等委員に占める女性の割合…………… 24.9%
- (2024年4月時点)

能登の女性たちが直面したこと

- ・職場が被災し営業できない中、二次避難したことを理由に「自己都合での退職」を迫られた。
- ・避難所で「地域の嫁」として用事を言いつけられる。在宅避難をしている女性に、「避難所で炊き出しを」と連絡が来た。
- ・県外の公務員の応援チームが全員男性。女性の派遣をと訴えてもダメだった。
- ・トイレや風呂が整わず、陰部のかゆみ、膀胱炎など言えずに我慢。
- ・更衣室がなく、布団の中で着替えた。プライバシーの問題は後回しだった。
- ・男性によるつきまといに対し、警察にできたのは防犯用のブザーを渡すのみ。

「彩りあふれる能登の復興へ 令和6年能登半島地震の女性の経験と意思に関するヒアリング調査」より要約・抜粋

災害時に

「誰一人取り残さない/誰一人取り残されない」ためには、ふだんからの視点や取組が大事なんだなあ！



能登で初めて設置された1.5次避難所では

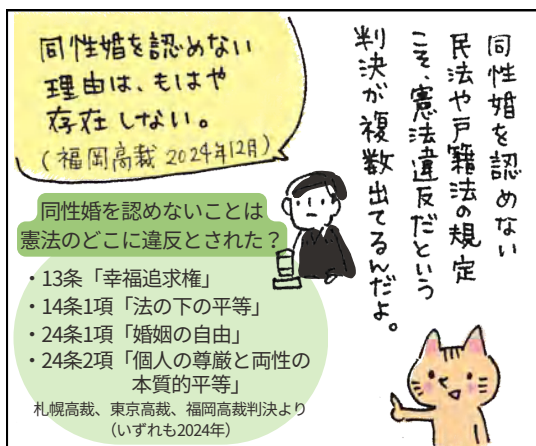
- ※ 1次避難所…地震直後に被災者が身を寄せる体育館や公民館など
- ※ 1.5次避難所…2次避難を待つ間の受け皿。
- ※ 2次避難所…ホテルや病院、福祉施設など生活や介護の環境が整った施設。妊産婦・乳幼児・高齢者・障がい者などの災害時要援護者を優先。

- ・トイレに生理用品を置いた
- ・女性専用スペースを設置、赤ちゃん用品を置き、授乳スペースを作った
- ・キッズスペースにおむつ替えや授乳場所を設置
- ・子どもが体を動かせるスペースや、学習スペースを設置した

モヤモヤ委員会

第8回

同性婚は憲法違反なのか問題



日本国憲法は国の根本を定めています。憲法を変えなければ同性婚はできない」という説ってホント? というのが今回のモヤモヤです。裁判の判決からも、民法や戸籍法の改正が求められているのではありませんか。

同性カップルやその子どもは、結婚した家族に与えられる法的保護、社会保障上の権利や給付から排除されています。例えば、パートナーや子どもが病気になっても介護休暇を取得できず、家族として健康保険でカバーもされない。パートナーの死亡退職金は支給されず、二人で築いた財産の相続も認められない... などの

参考資料: WEBサイト「NPO法人EMA日本」

つうしん131号アンケート

抽選で2名様に
図書カード
1000円分 進呈

- 参考になった記事をお答えください (複数回答可)
 ①特集「なばりのきらきらウーマン」
 ②ホワイトリボンラン
 ③災害対応にジェンダーの視点を
 ④モヤモヤ委員会第8回 ⑤相談日程
 ⑥参考になった記事はなかった
- 興味のあるテーマ、今後読みたいと思うテーマはどれですか? (複数回答可)
 ①名張市の男女共同参画
 ②世界の男女共同参画 ③その他 ()
- 特集「なばりのきらきらウーマン」についてご意見・ご感想をお聞かせください。
- 131号の記事全体について、ご意見・ご感想をお聞かせください。

★ お名前、年齢、住所、「〇号アンケート」と明記の上、下記の宛先へお送りください。(送料等はご負担ください)

WEBで回答

メールで回答



WEB <https://forms.gle/pL3HCfjVJwrXG5X6A>
 メール danjo-center@emachi-nabari.jp
 郵 送 〒518-0775 名張市希中央5-19
 名張市男女共同参画センター宛
 FAX 0595-63-5326

応募締切:3/10⑨ (必着)

※ご記入いただいた個人情報は図書カード発送のみに使用し、当選発表は景品の発送をもってかえさせていただきます。

編集後記

「名張にお産できる病院がなくなる」という去年の秋のニュースには、多くの人が驚いたのではないのでしょうか。少子化で分娩に関する経営が成り立たないのは名張に限ったことではありませんが、折しも大学の学費値上げなども報じられ、「産めない、産まない」ことが加速するのでは...と憂いを感じずにはいられない今日この頃です。さて、女性は「産む性」ですが、「産むためだけにいる存在」ではありません。自己実現や、未来への希望とセットで「産み育てたい」と思える社会をどうつくっていくのか、男女共同参画も大切なカギのひとつです。

相 談 日 程

名張市男女共同参画センター

3月
2025

日	月	火	水	木	金	土
						1
●予約電話 63-5336						
2	3	4	5	6	7	8
	休館日		女性のための相談 9:00~12:00		女性弁護士による法律相談 10:00~14:00 女性のための相談 13:00~16:00	
9	10	11	12	13	14	15
	休館日	人権相談 13:30~16:00	女性のための相談 9:00~12:00	男性のための相談 17:00~19:00	女性のための相談 13:00~16:00	
16	17	18	19	20	21	22
	休館日	人権相談 13:30~16:00	女性のための相談 9:00~12:00	メンタルヘルス相談 10:00~12:00	女性のための相談 13:00~16:00	
23	24	25	26	27	28	29
	休館日		女性のための相談 9:00~12:00			
30	31				女性のための相談 13:00~16:00	
	休館日	メンタルヘルス相談 13:00~16:00				

4月
2025

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
			女性のための相談 9:00~12:00		女性のための相談 13:00~16:00	
6	7	8	9	10	11	12
	休館日	人権相談 13:30~16:00	女性のための相談 9:00~12:00	男性のための相談 17:00~19:00	女性弁護士による法律相談 10:00~14:00 女性のための相談 13:00~16:00	
13	14	15	16	17	18	19
	休館日	人権相談 13:30~16:00	女性のための相談 9:00~12:00	メンタルヘルス相談 10:00~12:00	女性のための相談 13:00~16:00	
20	21	22	23	24	25	26
	休館日	メンタルヘルス相談 13:00~16:00	女性のための相談 9:00~12:00		女性のための相談 13:00~16:00	
27	28	29	30	●予約電話 63-5336		
	休館日		女性のための相談 9:00~12:00			

★「女性弁護士による法律相談」は第1金曜日ですが、都合により第2金曜日になります。



女性のための相談

予約優先

電話相談可

毎週水曜日 9:00~12:00 ※祝日の場合は
毎週金曜日 13:00~16:00 お休みです



女性弁護士による法律相談

要予約

面談

毎月第1金曜日 10:00~14:00



男性のための相談

予約優先

電話相談のみ

毎月第2木曜日 17:00~19:00



メンタルヘルス相談(男女共)

要予約

面談

毎月第3木曜日 10:00~12:00
毎月第4火曜日 13:00~16:00



人権相談

要予約

面談

毎月2回 ※詳しくは、名張市人権センター(☎63-0018)へお問い合わせください

Special interview 29

「男女共同参画」とは「自分らしくあること」ではないかと私たちは考えています。
男らしく、女らしく、ではなく、ありのまま生き生きと暮らす。
そんな風に「自分らしく」人生を歩んでいる地域の女性たちをご紹介します。

もりもと ゆりこ
森本 優里子さん

久保耳鼻咽喉科クリニック
看護師

profile

名張市で生まれ育つ。伊賀市の岡波看護専門学校を卒業後、上久保病院（当時）勤務などを経て久保耳鼻咽喉科クリニックに入職。夫とともに家業である観光農園を守りつつ、同クリニックで主任看護師を務める。



「ほっとけない」が
ライフワークに

お仕事について教えてください。

看護師として耳鼻咽喉科に勤めて30年になります。仕事内容は、検査や注射、患者さんの介助などです。耳鼻咽喉科は、急を要することが少ないのですが、コロナ禍以降は、コロナウイルスの検査をすることも多く、忙しさで目が回るような期間もありました。また、毎年寒い時期には、インフルエンザ流行に備えて予防接種を希望する人や風邪で受診する人が増え、さらに3月からは花粉の季節で受診者数が普段の3倍になることも。どんなに多忙でも、できるだけ一人ひとりの患者さんに向き合って対応するように心がけています。

この仕事についたきっかけは何ですか？

高校生の時に、地元が同じで親しくしていた上

久保病院の院長（当時）が「うちの病院へ来ないか」と声をかけてくださったんです。もともと、人と接することが好きで「ほうっておけない」性分もあり、看護師の道を歩み始めました。その後、第一子出産まで上久保病院で働きました。当時は救急も受け入れていて、総合的な経験をさせてもらいました。

今の職場に入ったのは、二児の子育て中に、以前の同僚から「いい先生が開業されるのでどう？」と声をかけてもらったのがきっかけです。耳鼻咽喉科は未経験の専門科なので不安もありましたが、踏み出してみることにしました。それ以来、同じ職場で働き続けられたのは、穏やかで聡明な院長をはじめ、明るくて患者さんにも温かい職員の皆さんあつてのことです。おかげで「また明日も頑張ろう」という気持ちになれるんです。

看護師の仕事で大変なことや、やりがいとは？

専門科ならではの診察や処置について、日々勉強させていただくことがたくさんあります。最初のころは、耳の穴に入り込んだダニや小さいムカデに驚かされました。

大変なのはやはり、花粉シーズンに多忙を極めることです。この時期を乗り越えると、「今年もがんばれたな」と達成感があります。そして、患者さん方に「ありがとう」と言ってもらえると、疲れも吹き飛びます。仕事を通して、言葉一つで優しい気持ちを共有できるんだと実感しています。

また、最近のことですが、自転車の高校生と車との衝突事故に出くわしたんです。周りの人が動揺してフリーズしてしまう中、救急車を呼んだり、けが人の状態を確認したり……ほうっておけないのはもちろんですが、職業上、必要な動きができたかなと思います。

仕事と家庭のバランスをどのように取っていますか？

私の家が代々観光農園を営み、ブドウとイチゴを育てているので、休みには農園の手伝いをしています。観光農園は主に夫が支えてくれています。四季を通して仕事がたくさんあり、天候に左右されたり、実ったかと思えば鳥獣被害に遭ったりと苦労が絶えません。家事育児と農園、そして看護師の仕事を続けられたのは、家族との協力関係があったことです。子どもたちが幼い頃は、私の帰りが遅いので夕食は両親が担当したり、父が習い事の送り迎えをしてくれたり。今は、夫が孫の送り迎えをしています。

現在は高齢の母の介護もあり、プライベートの時間があまりとれないものの、毎年農閑期には、クリニックに休みをいただいて家族旅行を楽しんでいます。コロナ禍で中断していましたが、昨年久々



に行ってきました。夫には、いつも苦労しているぶんも、旅行でゆっくり羽を伸ばしてほしいという思いがあります。

後進へのメッセージと、今後のことをきかせてください

若い皆さんには、自分がしたいことにどんどん進んでほしいです。そして、選んだ道で迷ったり疲れたりしたら、休んでもいいし方向転換してもいいと思います。私自身も、今の職場の前にアパレル関係で1年働き、医療関係とはまた違う楽しさや学びを得た上で、「やっぱり看護師の仕事が好きだ」と気づきました。だから、これまで続けられたのだと思います。また、看護や介護といったケアの仕事はこれまで主に女性が担ってきましたが、男性が増えるのはとてもいいことだと感じています。人手不足も身近に感じる昨今ですが、看護師は必要とされる、やりがいのある仕事です。性別問わず多くの人に活躍してほしいですね。

私自身は、看護師の仕事をもう少し続けながら、これまでのご縁に感謝して、人とのつながりを大切に、今後も過ごしたいと思っています。



* 見つけた「彼女らしさ」 *

柔らかい物腰と優しいまなざしが印象的な森本さん。「職場の楽しさは周囲のおかげ」とのお話では、長く主任看護師を務め、その“心”を配ってきたのは彼女自身なのだろう、と感じました。また、「ほうっておけない」と誰かのために動くことは、実は勇気があること。それらを自然体でさらっとこなす姿に、森本さん「らしさ」を見つけました。